

下水道機構の『新技術情報』 第79号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

まだまだ寒い日が続いていますが、週末は下水道健康駅伝大会で熱い戦いが繰り広げられました。読者の皆様のなかにも参加された方がいらっしゃるかと思います。皆様のチームの結果はいかがでしたか？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第79号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・ 3月12日(火)東京、19日(火)大阪で、下水道新技術セミナーを開催します
- ・ 下水道機構に関するWeb アンケート実施中！

■機構の動き

- ・ 今週は、2/13(水)に管路技術共同研究委員会を、2/14(木)に技術サロン、2/15(金)に新技術研究発表会(東京会場)を開催します

■Tea Break

- ・ そろそろ春の足音が？ (研究一部 春よこい、はやくこいさんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・ 下水道健康駅伝大会、機構チームの結果は！

■国からの情報

- ・ 2月8日付及び2月5日付号外、下水道ホットインフォメーション

●3月12日(火)東京、19日(火)大阪で、下水道新技術セミナーを開催します

「下水道事業における情報通信技術(ICT)の活用と下水道ストックマネジメントの方向性」をテーマに 第57回下水道新技術セミナーを3月12日(火)東京都港区発明会館で、3月19日(火)大阪市西区大阪科学技術センターで、両会場とも13:00~16:50に開催します。中部大学の山田教授による「都市水システムの管理運営」の基調講演、国土交通省下水道部からは、下水道企画課 茨木課長補佐による「下水道施設管

理・改築事業等の効率化～ICT活用・PPPの取り組み」、下水道事業課 樽井環境調整

係長による「ストックマネジメントの方向性～ストックマネジメント手法を踏まえた長寿命化計画の策定」についての講演を頂きます。また、仙台市のICT活用の事例紹介や、当機構からは、「ICT」、「ストックマネジメント」に関する調査研究など最新の取り組みを

ご紹介いたします。なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますので

ご活用下さい。公共団体、企業等の下水道技術者等を対象に、参加費は無料（テキストが必要な場合は、テキスト代1,000円）で参加者を募集中です。

参加をご希望される方は、当機構ホームページからWeb申し込みをお願いします。

→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

●下水道機構に関するWeb アンケートを実施しています

当機構は、昨年20周年を迎え、今年4月1日には、より公益活動を行う組織として、公益財団法人に移行する予定です。この度、下水道機構の果たすべき役割を再認識し、今後の社会的な貢献に向けた新たな活動の展開への礎とするため、アンケートを実施しています。皆様のご協力をお願いいたします。

Web アンケートはこちら

→ http://www.jiwet.or.jp/ascgi-bin/enquete_top.cgi?E_NUM=7

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

◎2/13(水) 14:00～17:00 平成24年度第3回 管路技術共同研究委員会

場所：下水道機構8階 特別会議室、議案：シールド切替型推進工法の審議

◎2/14(木) 17:00～18:00 第312回技術サロン

場所：下水道機構8階中会議室、ゲスト：国土交通省下水道部 町村下水道対策官 松原 誠、テーマ：平成25年度下水道事業予算等について

て

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-312.htm>

◎ 2/15(金) 13:00～16:45 新技術研究発表会(東京会場)

場所：東京都港区 発明会館

※参加お申し込みはこちら→ http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

●2/19(火) 平成24年度第3回 津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

●2/21(木) 平成24年度第3回 汚泥処理技術共同研究委員会

2月19日に、本検討会の活動の一環として、フランス、オーストラリアよりベンチマーキングの専門家を招き、両国のベンチマーキングの実情や最先端の取組み等について紹介するとともに、国内の関係者を交えて、今後のベンチマーキング活用の方向性について意見交換する国際セミナーを、開催いたします。

- ・日 時：2月19日（火）14:30～18:30
- ・場 所：ルポール麹町 マーブル（3階）
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-3
- ・プログラム・応募方法：下記 URL をご参考下さい。
- ・定 員：150名（先着順で定員になり次第締め切り）
- ・言 語：英語、日本語（同時通訳付）

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000188.html

大勢のご参加をお待ちしております。ふるってご応募ください☆

○ブルガリア・国交省政府間意見交換【下水道企画課】

本邦下水道研修のため、ブルガリ 地域開発・公共事業省 ミレヴァ議長をトップとする一行が来日され、1月28日に事務次官表敬を行いました。表敬後、政府間協議を行いました。

日本側よりこれまでの日本とブルガリアの協力に関するレビューを行った後、日本のアセットマネジメントに関する説明がありました。それを受けて、ブルガリアよりブルガリア及びその上下水道の状況について説明がありました。

最後に質疑応答の時間が設けられ、ブルガリア側から管路の老朽化対策に関する質問及び日本の下水道事業の組織体制等の質問がされました。

○ベトナム建設省 ティエン技術インフラ局長による岡久下水道部長表敬 【下水道企画課】

2月1日に開催される第4回海外インフラ PPP 協議会に参加するため、ベトナム建設省 ティエン技術インフラ局長が来日されました。ティエン局長は、来日にあわせて、1月30日に国交省岡久下水道部長を表敬されました。表敬では、岡久部長とティエン局長との間で意見交換を行った後、実際に技術支援を行っている大阪市、神戸市からも現状の報告がなされました。

○インドネシア公共事業省 人間居住総局 ジョコムルシト衛生開発局長及びジャカルタ州スタント副知事による岡久下水道部長表敬【下水道企画課】

2月1日に開催される第4回海外インフラ PPP 協議会に参加するため、インドネシア公共事業省 人間居住総局 ジョコムルシト衛生開発局長及びジャカルタ州スタント副知事が来日されました。ジョコ局長及びスタント副知事は来日にあわせて、1月31日に国交省岡久下水道部長を表敬されました。表敬では、岡久部長とジョコ局長及びスタント副知事との間で意見交換を行った後、実際に技術支援を行っている北九州市及び横浜市より各市のインドネシアへの協力についての話がありました。

○第4回海外水インフラ PPP 協議会の開催について【下水道企画課】

海外の水インフラプロジェクトに関し、官民連携による海外展開に向けた取組を推

進するため、第4回海外水インフラ PPP 協議会（座長：三菱商事（株）小島会長）を開催いたしました。詳細は国交省 HP をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000235.html

○第4回都市における再生水利用に関する北東アジア協力会議（the 5th RWUUA）及び水再利用国際ワークショップの開催結果について【流域管理官】

現在、日本・中国・韓国の三国間での標準化活動を推進する「北東アジア標準協力フォーラム」の中で、下水再生水の利用に関する国際標準化の議論が「都市における再生水利用に関する北東アジア協力会議（RWUUA (Reclaimed Wastewater Use in Urban Area) 国際会議）」の場で進められています。

去る1月31日に第5回会議が韓国・ソウルにおいて開催され、日本から「再生水の水质に関する健康リスクアセスメント対応についての規格」等について提案を行いました。国土交通省下水道部としては、今後、この規格の国際標準化を目指すべく引き続き取り組んでまいりたいと考えています。

また、2月1日に併せて開催された、水再利用国際ワークショップにおいては各国より、再生水利用の現状や今後の展望について、講演がなされました。日本からは、田中教授（京都大学）が基調講演を、吉村氏（福岡市）が話題提供を行いました。

次回会議については7月に九州で行うこととなっております。

●研究集会「取付管の今日的課題」の開催について【NP021 世紀水倶楽部】

公共ますから下水道管に至るまでの取付管は、これまで道路陥没の最大要因になってきました。全体（4,000件/年）の半分を占めるとされています。そこで21世紀水倶楽部では、1月30日に実施した排水設備に焦点を当てた研究集会に引き続き、取付管にスポットを当て、道路陥没の現状や取付管に関わる問題点を洗い出し、今後の対策や課題解決のための方向性について議論する目的で研究集会を開催します。

・日時：3月27日（水）13：30～17：00

・会場：（財）下水道新技術推進機構8階中会議室

・プログラム：

(1)「道路陥没と取付管」

国土技術政策総合研究所下水道研究室主任研究官 深谷 渉 氏

(2)「鳥取市の管路施設包括的民間委託における取付管等管理のポイント」

鳥取市環境下水道部下水道企画課課長補佐 田村 温 氏

(3)「千葉市における取付管等管理の現状と課題」

千葉市建設局下水道建設部下水道計画課課長補佐 鎗田篤治 氏

(4)「取付管に関わる管理と更新」公益社団法人日本下水道管路管理業協会会員・

管清工業(株)生産技術部主任 佐藤秀樹 氏

(5)全体討議

・申込み：21世紀水倶楽部 HP の申込みフォームから（締切：3月11日）

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

・問合せ先：E-mail sympo-info@21water.jp または ☎ 03-3980-4567 まで

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■土木学会環境工学委員会・下水道関連震災調査小委員会シンポジウム

「東日本大震災の経験から次世代の下水道を考える」の開催について【下水道事業課】
(3月19日開催)

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→2月1日掲載

■「第2回災害時トイレ衛生管理講習会」のご案内【NPO法人日本トイレ研究所】

(2月23~24日開催)

<http://www.toilet.or.jp/study/meeting/summary/130223.html>

→2月1日掲載

■下水道新技術研究発表会の開催について【下水道機構】

(2月15日：東京開催)

http://www.jiwet.jp/school/school-04_018.htm

→1月18日掲載

■第18回「下水道循環のみち研究会」セミナーの開催について

【日本下水道施設業協会】

(2月18日開催)

<http://www.siset.or.jp/>

→1月10日掲載

=====

【参考情報】

◆液状化や軟弱地盤に有効な土嚢工法を普及へ 小川工業など <2/3 MSN産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130203/biz13020321310007-n1.htm>

◆滋賀県、中国・湖南省で下水処理技術支援へ <2/5 京都新聞>

<http://kyoto-np.co.jp/top/article/20130205000037>

◆東日本大震災：福島第1原発事故 汚泥の早期搬出を 国見など4市町の首長ら県に要請 /福島 <2/6 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukushima/news/20130206ddlk07040303000c.html>

◆津波浸水区域、市の13% 田原市が新防災マップ 愛知 <2/6 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20130206/CK2013020602000038.html>

◆再発防止へ有識者委 高知市下水道事故 <2/6 高知新聞>

<http://www.kochinews.co.jp/?&nwSrl=298595&nwIW=1&nwVt=knd>

◆二上浄化センターに小水力発電設備 下水処理施設では北陸で初めて <2/7 北日本新聞>

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20121130/seikai3.pdf>
